

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 長良特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月6日(木) 13:00～15:00
- 3 開催場所 長良特別支援学校 プレイルーム
開催にあたり、委員による校内見学と授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	井澤 尚子	長良医療センター 主任児童指導員
委 員	永井 裕也	岐阜聖徳学園大学 教育学部 准教授
	安藤 由美子	長良園芸 (欠席)
	嶋崎 喜代美	長良東公民館主事 (欠席)
	古田 潤奈	P T A会長 (欠席)
	加藤 みき	重症心身障がい在宅支援センターみらい 看護師
	白木 祥子	難病生きがいサポートセンター 自立支援員
	下平 悦子	長良医療センター 医療社会事業専門職
学 校 側	井原 誠	校長
	不破 明美	教頭
	堀 美和子	事務長
	浅野 泉	小学部主事
	毛利 久美子	中学部主事
	寺澤 康德	高等部主事
	落合 さや香	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教育活動報告

- ・当校の進路状況や追支援報告
- ・地域支援センター活動報告

意見1: 進行性の病気の生徒への進路支援について知りたい。

⇒在籍中から関係機関と丁寧に連携を図っていくことが必要である。

意見2: 進路支援において、移行支援会議等において関係機関が目的を共有していれば、状態の変化にも対応できる。

意見3: 多職種連携においては、短期・中期・長期での目標を共有することが大切である。状態が変わっていくことは想定できており、理解されているケースが多い。

意見4: 施設内において超短時間ワークに就く利用者がいるが、社会性において支援が必要なケースがある。当校での社会性の支援の取組みについて知りたい。

意見5: キャリア教育において個別に進路実現に向けて尽力されている中で、小学部のキャリア教育について知りたい。

⇒キャリア教育及び社会性の育成について、日々の活動において教師が意識をして取り組んでいる。(意見4の回答を含め 各部教育活動報告時に説明)

意見6：病弱教育支援センターの相談件数はどれくらいか。

⇒訪問支援4件、支援会議4件。昨年度とは違う機関からの相談である。

：昨年度と違う機関からの相談であれば、それなりに周知されているのではないか。

今後も継続していけるとよい。周知方法として、「病弱」という言葉より「病気」というフレーズの方が馴染みがある。どんな児童生徒への支援なのか例を挙げていくとよい。また、病弱児への支援は、どの児童生徒への支援にもつながることを伝えるとよい。

・小学部、中学部、高等部教育活動報告

(2) 「教育活動に関するアンケート」集計結果の概要説明

(3) 作業製品の価格について（作業製品価格審査会）

⇒中学部：学習活動で栽培した植物を製品に活用している。販売価格は、原材料費購入費を超えない設定としている。

⇒高等部：前回の販売を受け、購入者からの要望をもとに改良・開発した製品である。販売価格は、原材料費購入費を超えない設定としている。

6 会議のまとめ

- ・学習活動や支援センターと取組みの情報発信や周知を今後も続けてほしい。
- ・教育活動アンケートについて、以前分らないと記入していた項目が具体的な質問項目になっていて記入しやすかった。
- ・「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が多いので、保護者は学校に信頼を寄せているのではないか。
- ・生徒が教育活動アンケートに自分で回答できていることがよい。
- ・製品については、児童生徒の好きなことや得意なこと等を生かし工夫している。（複数）
- ・よりよいものを目指していくという点で、学校運営協議会場で確認しつつ丁寧に検討していくことが大切である。